

## 島田市水道事業中期経営計画の達成状況・評価等について

平成 27 年 9 月に策定をいたしました島田市水道事業中期経営計画書（平成 27 年度～平成 29 年度）の達成状況について、「事業運営の目標」をはじめとした主要な項目について、平成 30 年 3 月 31 日現在の状況を公表いたします。

### 1. 財務状況

#### (1) 収益的収支（税抜）

平成 27 年 10 月の水道料金の改定は、年平均 4.5%を 4 年間、段階的に値上げするものであったことから、平成 29 年度の給水収益は、前年度比 4,110 万円の増加となりました。料金改定前の平成 26 年度と比較して 9,140 万円の 10%の増加となっています。

支出は、受水費の単価及び購入水量が減となったことから、前年度比 4,044 万円の減となっています。

3 年間の執行額を計画値と比較した場合、歳入 101%、歳出 93%の執行率となっています。歳入の増は、有収水量の減が見込みより緩やかであったこと、歳出の減は、平成 26 年度以前よりも動力費単価が低かったことなどによるものです。

(単位：円)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収 入	給水収益	897,095,476	916,436,852	947,388,577	988,492,872
	受託工事収益	3,811,314	3,549,783	3,462,159	3,239,251
	その他営業収益	1,377,840	826,120	90,600	80,600
	他会計補助金	910,000	836,000	3,209,000	2,018,000
	受取利息及び配当金	1,848,624	1,560,387	936,285	710,455
	雑収益	13,780,250	13,398,284	16,080,956	15,214,152
	長期前受金戻入	67,303,996	63,134,899	64,999,864	65,348,693
	特別利益		38,995,721	2,055,197	0
計	943,262,815	1,038,738,046	1,038,249,638	1,075,104,023	
支 出	給与 ※3	98,173,997	98,386,500	100,823,807	98,135,820
	動力費	64,216,448	58,582,940	48,910,616	55,335,012
	受水費	256,681,704	257,367,924	256,672,850	216,227,936
	退職給付費※4	0	1,740,283	14,126,574	5,903,854
	委託料	141,318,681	154,379,546	152,109,802	158,418,559
	減価償却費	224,580,209	226,072,263	245,942,108	257,494,741
	企業債利息	30,429,984	29,829,851	28,393,940	27,578,279
	その他	66,684,508	66,040,148	81,351,975	66,827,970
	特別損失	88,909,934			
計	970,995,465	892,399,455	928,331,672	885,922,171	
当期純利益	15,132,035	146,338,591	109,917,966	189,181,852	

※3 給与 …… 給料、手当、法定福利費を含み、児童手当、賃金、報酬は除く

※4 退職給付費…… 退職給付引当金引当額を含む

(2) 資本的収支（税込）

29年度の執行状況の収入は、企業債が前年より4,200万円の減となっています。支出は、工事請負費が前年比1億3,491万円の減となっていますが、これは工期延長により1億8,000万円の予算繰越を行ったことによるものです。

3年間の執行状況は、収入は96%の執行となっており、概ね予定通りです。

支出は、78%の執行となっていますが、P7に示す主な計画における目標は達成しています。

資本的収支

(単位：円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	企業債	99,000,000	76,000,000	200,000,000	158,000,000
	一般会計補助金	22,684,000	35,565,000	5,292,000	6,635,000
	工事負担金	34,342,987	56,544,068	45,433,618	32,694,249
	長期貸付金返還金	15,166,279	19,765,786	20,014,683	20,266,719
	加入分担金	15,308,900	10,574,390	12,451,040	11,152,350
	固定資産売却費			385,020	
計		186,502,166	198,449,244	283,576,361	228,748,318
支 出	給与 ※5	4,183,677	3,332,456	3,329,312	3,478,020
	工事請負費	302,545,800	561,234,960	444,121,920	309,208,320
	固定資産購入費	10,561,876	2,083,130	5,061,816	3,722,411
	元金償還金	67,065,446	68,756,232	70,496,562	80,814,521
	その他	9,650,800	18,441,853	23,552,640	22,729,680
計		394,007,599	653,848,631	546,562,250	419,952,952

※5 給与 …… 給料、手当、法定福利費を含み、児童手当、賃金、報酬は除く

(3) 貸借対照表

資産の総額は、7,691,771千円で、前年に比べ288,759千円増加しました。

固定資産は、大井町静居寺線配水管布設替や大津配水池ポンプ改修等、水道施設整備を行い、前年に比べ34,384千円の増となりました。

なお、平成29年度末の流動資産が大きくなっているのは、予算繰越による影響で一時的なものです。

貸借対照表

(単位：円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産	固定資産	6,017,336,124	6,301,663,059	6,451,699,859	6,486,083,457
	流動資産	1,014,217,012	925,882,382	951,312,417	1,205,687,636
	うち現金預金	900,008,711	827,771,563	869,524,428	1,068,913,288
	うち未収金	81,420,096	65,739,304	50,760,810	58,519,935
	計	7,031,553,136	7,227,545,441	7,403,012,276	7,691,771,093
負債	固定負債	1,616,987,033	1,584,305,717	1,717,153,292	1,786,346,920
	流動負債	205,488,489	254,526,489	193,730,657	239,807,108
	繰延収益	1,514,894,825	1,548,191,855	1,541,688,981	1,525,995,867
	計	3,337,370,347	3,387,024,061	3,452,572,930	3,552,149,895
資本	自己資本金	2,063,148,554	2,948,278,628	3,224,100,306	3,294,596,868
	資本剰余金	133,701,140	133,701,140	133,701,140	133,701,140
	利益剰余金	1,497,333,095	758,541,612	592,637,900	711,323,190
	計	3,694,182,789	3,840,521,380	3,950,439,346	4,139,621,198

(4) 企業債残高

未償還元金は、平成23年度及び平成24年度の繰上償還により一旦減少しましたが、老朽化した施設の更新に多額の資金が必要であったことから、この3年間は償還より借入が多く、未償還元金は増加となっています。

予算の繰越により、平成29年度末は42,000千円の借り入れが未実施となっています。この繰越分を加えた残高は1,750,628千円となり、計画残高1,758,490千円の範囲内となっています。

	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
未償還元金(円)	1,494,696,216	1,501,939,984	1,631,443,422	1,708,628,901
給水収益に占める割合(%)	166.6	163.9	172.2	172.9
1人当たりの未償還元金(円/人)	20,102	20,243	21,980	23,165

## 2. 業務量

平成 29 年度末の給水人口は、73,758 人で前年度に比べ 466 人の減となりました。一方、給水戸数は 30,810 戸と前年度に比べ 191 戸の増加となりました。

年間有収水量は、人口減少、節水器具の普及などにより減少傾向ですが、平成 29 年度は、事業用の新たな需要があったことにより、前年度増となりました。但し、これは一時的なもので平成 30 年度は減少に転じると考えています。

平成 29 年度末の計画値との比較では、給水人口が概ね見込みどおりの減少に留まったのに対し、一日平均給水量は計画比 2,650m<sup>3</sup>増となっています。一日平均有収水量は、計画比 611 m<sup>3</sup>増となっていますので、実質 2,039m<sup>3</sup>増で、その殆どが漏水によるものと思われます。

P7 に示すとおり、老朽管の更新工事は計画どおり実施しているものの、管路延長 350 キロのうち 3 割が耐用年数を超過しており、漏水の発生に更新が追いついていないことは明らかです。

今後は、平成 29 年度末に策定した水道事業ビジョン、経営戦略に沿って更新、整備を効率的に進め、漏水の減量に努めてまいります。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
給水人口(人)	74,354	74,196	74,224	73,758
給水戸数(戸)	30,007	30,253	30,619	30,810
1 日平均給水量(m <sup>3</sup> )	28,996	29,354	29,930	30,353
年間配水量(m <sup>3</sup> )	10,583,389	10,743,676	10,924,530	11,078,691
年間有収水量(m <sup>3</sup> ) ※1	8,426,852	8,484,134	8,417,442	8,430,885
有収率(%) ※2	79.6	79.0	77.1	76.1

※1 有収水量 …… 料金徴収の対象となった水量

※2 有 収 率 …… 年間有収水量／年間配水量

施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかを確認する指標  
同規模事業所の全国平均は 87.91% (平成 28 年度末)

### 3. 事業運営の目標・達成状況の評価

#### (1) 財政運営の目標

##### ア 水道料金の改定の検討

平成 27 年 10 月 1 日からの料金改定は、昭和 63 年以来の料金改定となりました。用途別料金制から口径別料金制に変更し、用途や口径の違いによりそれぞれ改定率は違いますが、全体平均 18% という値上げを実施しました。これを 4 年かけて段階的に変更していく方法をとっています。(下記の島田市の料金は平成 30 年 1 月 1 日時点の料金です。)

今後は、経営戦略をもとに概ね 5 年ごとの見直しを実施していきます。

県内の水道料金 (平成 30 年 1 月 1 日現在)

(家庭用) 1 ヶ月 20m<sup>3</sup> 利用 (円)

団体名	適用時期	料金	団体名	適用時期	料金
牧之原市	26.4	3,618	伊東市	26.4	2,273
菊川市	26.4	3,570	磐田市	26.4	2,252
掛川市	26.4	3,240	島田市	29.10	2,398
湖西市	26.4	2,700	大井上水道	26.4	2,248
下田市	26.4	2,602	静岡市	26.4	2,210
熱海市	26.7	2,562	浜松市	26.4	2,117
伊豆市	26.4	2,543	富士市	28.4	1,825
袋井市	28.4	2,579	富士宮市	26.4	1,782
裾野市	26.8	2,430	焼津市	26.4	1,749
藤枝市	26.4	2,419	沼津市	22.9	1,610
御前崎市	26.4	2,376	三島市	29.10	2,150
御殿場市	26.4	2,320	伊豆の国市	26.4	1,554

平成 28 年度市町財政の状況 (静岡県発行) より

##### イ 料金回収率の改善

給水原価とは水道水を 1 m<sup>3</sup> 供給するためにかかる費用を表します。料金回収率が 100% を下回った場合は、赤字となり、他の財源で不足分を賄うことになります。

原油価格の高等等で急激に値上がりしていた動力費は、平成 27 年度から値下げとなったことから、回収率は 100% を超えることができました。

(単位: 円)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
給水原価 (円)	目標		112.6	117.6	117.5
	実績	103.71	104.22	109.35	104.07
供給単価 (円)	目標		107.2	113.1	117.6
	実績	106.46	108.02	112.55	117.25
料金回収率 (%)	目標		95.3	96.2	100.1
	実績	102.65	103.65	102.93	112.7
評価			○	○	○

#### ウ 収納率の維持

水道料金の納期限は月末となっています。平成29年度末の3月31日は週休日であったため、納期限は平成30年4月2日となりました。この影響を受け平成29年度の収納率は、前年度より大きく減となっています。

しかし、納期限が違う状態の比較では正しい評価ができないため、年度末から1か月後の翌年度4月末の収納率を参考に記載します。3年間の収納率は、コンビニ収納の増加に伴い収納時期が遅くなっているため、減少傾向となっていますが、高い収納率を維持しています。

(単位：%)

現年度収納率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標		98.25	98.25	98.25
実績	98.19	98.24	98.20	97.93
評価		△	△	△

(参考) 年度末から1か経過した後の収納率

現年度収納率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
翌年度4月末	99.42	99.42	99.40	99.38

#### (2) 職員定数管理及び給与適正化の目標

##### ア 定員管理

職員数は14人と平成27年度と変わっておりません。同規模の類似団体と比較して少ない人数で運営しています。

##### イ 給与の適正化

水道事業職員の給与については、従前どおり、島田市と同一となっており、今後も同様の予定です。

(3) 目標とするサービス水準

計画した項目のうち、キの有収率を除き、目標を達成しました。

	目標とその水準	実績	評価
ア	天神原配水区内の鋳鉄製配水管の布設替えを、対象延長 <u>12,173m</u> のうち平成 29 年度までに 74.8%を完了します。(H26 年度末時点 57.53%)	H27 整備率 59.7% H28 整備率 69.3% H29 整備率 76.6% 9,588m/ <u>12,513m</u> (対象延長変更)	○
イ	旗指配水区の鋳鉄製配水管の割合を 20.8%にします。(H26 年度末時点 6.6%)	H27 整備率 12.5% H28 整備率 15.6% H29 整備率 20.7% 2,791m/ <u>13,454m</u> (対象延長変更)	○
ウ	漏水事故が多発している牧之原本線老朽管の布設替えを、平成 29 年度までに 85.6%を目指します。(平成 30 年度終了目標)	H27 整備率 34.6% H28 整備率 66.1% H29 整備率 83.1% 2,453m/2,953m	△
エ	東町御請線新設道路に併せ配水管の整備を行います。	整備完了	○
オ	地下水源施設耐震化事業を継続して実施します。(H26 年度 南 6 号水源滅菌電気室等耐震工事)	H28 初倉 3 号水源移転完了 H28 南 6 号完了 H29 南 2 号完了	○
カ	稲荷浄水場の設備機器の更新及び自家発電設備の設置を進めます。	上水道施設監視設備 及び非常用発電設備 H27 年度整備完了	○
キ	老朽化施設の更新、耐震化により有収率の向上を図ります。(H26 年度末時点 79.6%)	H27 末 79.0% H28 末 77.1% H29 末 76.1%	×
ク	平成 29 年度までに水道ビジョン及び経営戦略の策定を行い、着実に「災害に強い水道」の実現に努めます。	H28 年度原案作成 H29 年度末 策定	○
ケ	安全な水の供給を維持するために、水質検査数値の公表を行います。	ホームページにて公表	○
コ	財務状況の公表による事業への維持・向上に努めます。	〃	△

(4) 内部留保資金

平成 27 年度は、増加する老朽管の更新に加え、上水道施設監視制御設備の更新、稲荷浄水場の非常用発電設備の整備、東町御請線の新規路線管網整備事業を実施し事業費が拡大、一方で企業債の借り入れ制限があったことから内部留保は減少しました。

平成 28 年度は、起債制限が解除されたことから起債額を増額し、減少を続けてきた留保財源の確保に努めました。また平成 32 年度の天神原配水池の更新に備え、建設改良積立金を増額しました。

平成 29 年度は、予算繰越を 1 億 8 千万円行いました。内部留保資金は、平成 28 年度比 2 億 2 千万円増となっていますが、繰越財源が 1 億 2 千万円含まれているため、実質は 1 億円の増となります。

年度末残高

(単位：千円)

項 目		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
未処分利益剰余金	目標		83,906	32,356	69,928
	決算	117,461	163,800	123,718	189,899
減債積立金	目標		147,821	77,324	34,373
	決算	166,579	147,822	107,326	107,326
建設改良積立金	目標		136,090	139,858	98,126
	決算	261,097	171,098	291,098	316,098
損益勘定留保資金	目標		0	0	0
	決算	123,852	87,649	129,928	260,016
内部留保資金計	目標		367,817	249,538	202,427
	決算	668,989	570,369	652,070	873,339
評価			○	○	○



#### 4 財務指標

経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、数値が高いほど利益率が高いことを意味します。目標より高くなっており、経営状態は良好です。

有収水量 1m<sup>3</sup>あたりの各費用は、減価償却費を除き、目標値より減となっており問題ありません。減価償却費の増加は更新が進んでいることを示すもので良好です。

項目	算出等	H26	H27	H28	H29	評価	
経常収支比率(%)	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	目標		102.7	102.9	106.9	
		実績	111.8	112.0	111.6	121.4	○
累積欠損比率 実績値	累積欠損金/(営業収益-受託 工事収益)	目標		-	-	-	
		実績	-	-	-	-	○
職員一人あたり 給水人口(人)	給水人口/損益勘定所属職員 数	目標		5,705	5,691	5,677	
		実績	5,311	5,707	5,710	5,674	○
職員一人あたり 給水収益(円)	給水収益/損益勘定所属職員 数	目標		69,083	72,061	74,245	
		実績	64,078	70,495	72,876	76,038	○
損益勘定職員数(人)		目標		13	13	13	
		実績	14	13	13	13	-
有収水量 1m <sup>3</sup> あたり 職員給与費(円)	職員給与費/年間有収水量	目標		12.2	12.6	12.8	
		実績	10.8	10.9	12.8	11.4	○
" 減価償却費(円)	減価償却費/年間有収水量	目標		28.0	28.7	30.1	
		実績	26.7	26.7	29.2	30.5	○
" 支払利息(円)	支払利息/年間有収水量	目標		3.7	3.5	3.6	
		実績	3.6	3.5	3.4	3.3	○
" 受水費(円)	受水費/年間有収水量	目標		30.7	31.0	31.3	
		実績	30.5	30.3	30.5	25.7	-
1ヶ月 20m <sup>3</sup> 当たりの 家庭料金(円)	税込額	目標		2,198	2,298	2,398	
		実績	2,098	2,198	2,298	2,398	-
自己資本構成率	[(自己資本金+剰余金+繰 延収益)/負債資本合計]× 100	目標		74.86	73.46	72.27	
		実績	74.08	74.56	74.19	73.66	○
固定資産対長期資本 比率(%)	固定資産/(資本金+剰余金 +繰延収益+固定負債)× 100	目標		92.96	94.22	94.90	
		実績	88.15	90.37	89.49	87.04	○
当座比率(%)	(現金預金+未収金)/流動負 債×100	目標		200以上	200以上	200以上	
		実績	478	351	475	470	○

#### 5 まとめ

計画期間における事業は、料金改定による収入増により財務状況は良好でした。また、有収率以外は、目標とするサービス水準を達成しています。しかし、達成できなかった有収率は、漏水量増加を示しており、今後の財務への影響が懸念されます。平成27年に実施した料金改定は、段階値上のため、料金収入は順調に伸びてきたように見えますが、段階値上の終了に伴い、今後の収益は減少の見込みです。こうした状況を見据え、平成29年度に水道事業ビジョン、経営戦略を策定しました。当該計画に沿って事業を行い、水道事業を将来へ繋いでいくよう努めてまいります。